

京都外国語大学1年 木村潤平 さん

2007年2月、僕は一ヶ月間この CPILS に留学することを決めました。

最初はフィリピンに対して、治安が悪いとか汚そうといったようなイメージをもっていました。実際、イメージ



とそう変わりませんでした。臭い所もある、大気汚染もあるし、そして暑いです。交通ルールなんてもはや皆無に等しいです。でも、今となって言えることは、それがフィリピン、そういうフィリピンが僕は好きです。少なくとも今では、怖い、危ない国、というイメージはすべてなくなりました。

自分の行動次第では当然怖くて危ない国、になってしまうのだろうけど、普通に生活していれば、まず危ない目になんかあいません。セブの先生ではない街の人たちは本当に温かい。英語が訛ってて何を言っているのかわからない人も多かったけど、そんなもんはまったく問題じゃないです。英語を使ってハートで会話すれば通じるもんだと悟りました。

CPILS の生徒のほとんどは韓国人でした。こんなチャンスは他にありません。彼らと英語を話すがてら韓国語を習わない手はないでしょう！ CPILS では100分の授業が4コマ(+ 無料の50分授業と100分のナイトクラス)あり、そのうちの1コマは空き時間です。僕の場合、お昼御飯を食べた後の3コマ目が空きでした。その時間を使って韓国人の女の子に韓国語を英語で習っていました。想像してください。英語で、韓国語を、習う。正直、すごく難しいです。でも、英語も伸びるし韓国語が無料で習えて、しかも女の子と仲良くなれるんですよ？これはもはや事件です。

「Be different from others(他人とは違う自分でいなさい)」

これは1対8の授業のカナダ人の先生の言葉です。僕がフィリピンで留学することを決意した理由は、安いという理由のほかに、みんなが行くような国に留学してもネタにならない、という思いがありました。実際、CPILS で出会った友達の大半は、変な人たちでした。だから良い。おもしろい。CPILS を選んで本当に良かったと思っています。

フィリピン人の作る韓国料理と日本料理を毎日味わえるのは CPILS くらいですよ！！
(笑) 珍味！！料理がまずいという、ことは決してありません。僕にとっては、 フィリピンが初めての外国だから、他の国や他の語学学校がどんな感じなのかわからないけど、これだけは胸を張って言えます。

フィリピン最高。セブ最高。CPILS 最高。